

座標: 北緯34度38分32.8秒 東経135度5分52.2秒

ウィキペディア

須磨浦公園

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

須磨浦公園（すまうらこうえん）は、兵庫県神戸市須磨区一ノ谷町にある公園。

目次

概要

交通

脚注

関連項目

外部リンク



須磨浦公園

概要

神戸市の鉢伏山・鉄拐山山麓の斜面やその周辺からなる、面積約**103.8**ヘクタールの公園である。神戸市が管理・運営している。**24**時間入園可能で、入園料は無料。

もともとは帝室林野局が管理する一ノ谷御料林であった。景勝地であることから神戸市議会で決議のうえ、昭和天皇の成婚記念に御料林及び松原の有償払い下げを受け、**1935**年（昭和**10**年）に開園した。この時すでに一ノ谷御料林の一部を借り受けて明治**23**年頃から営業していた旅館「須磨花壇」ら（払い下げについても内定済みであったという）との間で訴訟に発展している^[1]。このような形で営業していた旅館や保養施設は複数あり、そのうちの一つに後述の正岡子規が結核療養のために入院した「須磨保養院」があった^{[2][3]}。これらの旅館や保養施設は結局立ち退きを余儀なくされた。

歴史的には源平の古戦場、一ノ谷の戦いの地としても知られ、神戸市指定有形文化財の「敦盛塚」などの史跡がある。また、与謝蕪村、松尾芭蕉、正岡子規、高浜虚子などの句碑も園内に設置されている。

サクラの名所としても知られ、神戸市の「花の名所**50**選」にも選ばれている。

交通

- 山陽電気鉄道 本線 須磨浦公園駅 下車すぐ。

脚注

- ↑ “『一ノ谷御料林払下を繞る纏れ』神戸新聞 1935.4.28 - 神戸大学 電子図書館システム (http://www.lib.kobe-u.ac.jp/das/jsp/ja/ContentViewM.jsp?

METAID=10073757&TYPE=IMAGE_FILE&POS=1)”。*www.lib.kobe-u.ac.jp*. 2019年2月24日閲覧。

2. ^ 現在も公園に隣接する須磨浦病院の前身である須磨浦療病院（明治22年創設）ではない
3. ^ “レファレンス事例詳細 (http://crd.ndl.go.jp/reference/modules/d3ndlcrdentry/index.php?page=ref_view&id=1000158713)”。レファレンス協同データベース. 2019年2月24日閲覧。

関連項目

- 須磨海岸
- 須磨浦ロープウェイ
- 須磨浦山上遊園
- 神戸市立須磨海づり公園 - 駐車場が共通
- 日本の白砂青松100選

外部リンク

- 須磨浦公園 (<http://www.kobe-park.or.jp/sumaura/>)

「<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=須磨浦公園&oldid=73913750>」から取得

最終更新 2019年8月19日 (月) 14:22（日時は個人設定で未設定ならばUTC）。

テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。